

佐賀の未来を 共に創ろう！！

事業指定寄付プログラム-第1期-



一般財団法人

佐賀未来創造基金

事業指定寄付プログラム-第1期-

行政や企業が事業として実施できない
しかし市民ニーズがある様々な課題を解決する組織として
「市民社会組織（CSO）」が社会に浸透しつつあり
時代のニーズでもあります。
「佐賀をより良い県にしたい」と願う
市民社会組織（CSO）の善意と、
社会をよりよくするために 貢献したいという県民の
善意を結ぶ「県民基金」という
新しい『善意の連鎖』で豊かな社会を創る必要があると考えています。



事業指定寄付の仕組み

1. 寄付したい事業を選びます

カタログ・ホームページ (<http://www.saga-mirai.jp/kojin/jigyo/>)

「佐賀未来創造基金」で検索⇒TOP画面「事業指定寄付 募集中!!」⇒各事業特設ページへ

2. 寄付します

※銀行振込・現金の場合は申込用紙にご記入ください

郵便振替・銀行振込※・現金※・クレジット決済(クレジット決済が便利です)

3. 各事業に助成金として届けられます

4. 豊かな佐賀が実現されます

5. 事業報告をお届けします

佐賀未来創造基金のホームページより随時報告します



事業指定寄付プログラム-第1期- エントリー事業一覧

受付期間 平成25年9月15日～平成25年10月31日

- | | | | |
|-----|---|---|----|
| 1-A |  | 「人と街」によりよい環境を
さがんまち「みんなのレンタサイクル」事業
助成先:自転車友の会 | 4 |
| 1-B |  | 活動センターのぞみは頑張るあなたを応援します
就労するための支援事業
助成先:特定非営利活動法人 若杉会 障がい者活動センターのぞみ | 5 |
| 1-C |  | 高齢者・障がい者の不安を取り除くための調査です
高齢者・障がい者の方が安心して佐賀県・嬉野温泉へ旅行する為の活動(バリア調査)
助成先:佐賀嬉野バリアフリースターセンター | 6 |
| 1-D |  | 「行ける」ところではなく「行きたい」ところへ
高齢者・障がい者の方が安心して佐賀県・嬉野温泉へ旅行する為の活動(情報提供)
助成先:佐賀嬉野バリアフリースターセンター | 7 |
| 1-E |  | ほんのちょっとした助けが負担を軽減します
高齢者・障がい者の方が安心して佐賀県・嬉野温泉へ旅行する為の活動(介助器具貸出)
助成先:佐賀嬉野バリアフリースターセンター | 8 |
| 1-F |  | 我々の取り組みをとにかく知って頂きたいのです
高齢者・障がい者の方が安心して佐賀県・嬉野温泉へ旅行する為の活動(PR)
助成先:佐賀嬉野バリアフリースターセンター | 9 |
| 1-G |  | セラピーホースの購入および調教資金の募集です
温泉と乗馬のセラピー相乗効果
助成先:佐賀嬉野バリアフリースターセンター | 10 |
| 1-H |  | ～ 人との違いを楽しもう ～
誰もが知りたい個性心理学講座【人との違いを楽しもう事業】
助成先:SOCOプロジェクト佐賀 | 11 |
| 1-I |  | 地域で安心して暮らしたい。
第10回チャレンジドフォーラム in さが
助成先:チャレンジドフォーラム in SAGA 実行委員会 | 12 |
| 1-J |  | 佐賀の町をもっと楽しく、豊かに・・・
社会で役立つコミュニケーションスキルアップ研修
助成先:特定非営利活動法人 Link | 13 |
| 1-K |  | 私たちが「かけはし」になります！！
愛+笑顔のかけはしプロジェクト
助成先:西九州大学ESRD | 14 |

さがんまち
「みんなのレンタ
サイクル」事業

自転車友の会

「人と街」によりよい環境を
さがんまち「みんなのレンタサイクル」

あって当たり前？レンタサイクル

平坦な佐賀は、自転車が活躍しています。玄関口である佐賀駅のレンタサイクルは、「自転車友の会」が担っています。

あって当たり前のようなレンタサイクルですが、以前は観光案内所が駅付近の自転車屋さんを紹介していました。でも初めて来た人には駅周辺といえども不案内。やっぱり駅に設置しておくべきと考え、平成17年4月に、街づくりと環境問題に配慮した移動手段の確立を目指して、佐賀駅を拠点に事業を展開することになりました。

自転車を通じた社会貢献

佐賀では、自転車は必需品ともいえます。観光、ビジネスで佐賀に来られた方が驚かれるほどの、自転車県ですが、一方で、多くの放置自転車が問題になっています。ショッピングセンターや団地などに放置される自転車たち。私たちは団地等からの依頼を受け、放置自転車を処分する際には車体番号と防犯登録をチェックし警察に照会をお願いし、盗難や犯罪に使用された自転車を発見したこともあります。手間はかかりますが、こうした手順をきちんと行う事で、放置自転車が少しでも減ればと思っています。



人と自転車を活かしたい

放置自転車は鉄くずにしてしまうにはもったいない！佐賀市高木瀬に作業と展示の場を借り受け、再生自転車の販売を行っています。自身、障がい者でもある代表が整備を行っています。もう一歩進んで、障がい者とともに分解解体を行いたいと考えています。しかしながら、自前のトラックを持たない私たちは、持ち込みに頼らざるをえません。今回、寄付をいただき、軽トラックを導入できれば、より積極的に活動を進めていきます。ぜひ、活動にご協力とご寄付をお願いします。



私たちは障がい者と共に分解、解体、再生作業を行っておりますが、自前のトラックを持たないため持ち込みに頼らざるをえません。

今回、寄付をいただき、軽トラックを導入できれば、より積極的に活動を進めていきます。ぜひ、活動にご協力とご寄付をお願いします。



自転車友の会

代表:村田 清

担当:石原 太郎

Tel: 090-1878-5162

E-mail:

jitenshatomonokai@gmail.com

目標額

375,000円

300,000円で軽トラックを購入することで、
レンタル自転車の運搬・整備の拡充が図れます。

ご寄付
の方法

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075670
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-A】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。



就労するための 支援事業

特定非営利活動法人 若杉会
障がい者活動センターのぞみ



活動センターのぞみは頑張るあなたを応援します 就労の機会の提供や生産活動、その他の活動の機会の提供

知識や能力の向上のための訓練

就労移行支援事業等を利用した人、特別支援学校を卒業したが、もう少し働くための力をつけたい人、また一般企業等の雇用に結びつかない人等に、生産活動を通じ、知識及び能力の向上と就労に意欲的に取り組んでもらいます。

①職業観(仕事に対する姿勢、考え方)

1日の労働時間は7時間～8時間

②基本的動作(あいさつ、身だしなみ等)

就労を積極的に考えている方が、働き自信を持つまで、実践的訓練を行います。

作業所は常にオープンとし、保護者や関係者に働く姿を見て頂くような体制をとっていきます。

就職後の継続支援が重要なポイント

○就職・職場定着支援

○関係機関との連絡調整

就職後、職場定着が出来なければ、再チャレンジを行います。就労支援計画を最初から見直し、個性や目標の達成度、アピールポイントとなる部分、伸ばすべき部分、カバーすべき部分の再チェックを行い、ハローワーク等の関係機関と再度連携し、再度就職活動を行います。

「共存の社会」

職業訓練の内容は、本人の働く意志を尊重し、ローテーションを組み、就労継続支援B型作業所で、生産活動及び販売活動をすることで、仕事に対する自信が増し、職業環境に慣れさせ、一般就労に順応できるよう職場定着を目指した職業訓練を行います。

健常者と障がい者の「共存の社会」を理念に、地域の方々との交流を図り、障がい

者が知識及び能力の向上、意識の向上と共に「社会の役に立っている」「生きがい」を見出せるよう、自立性を尊重した作業指導と生産訓練を合わせて行うことを目的とします。

障がい者の雇用促進へ

障がい者の法定雇用率が、平成25年4月1日から、現行、民間企業は1.8%から2.0%に変わります。

現行では効率重視の仕事に、ついていけない現実と、同僚や上司に余裕がなく、ゆっくり育てたり指導出来ず、上司同僚も人の面倒まで見る余裕がなく、また、障がいへの理解もない職場環境では、とても勤まらないのが現状となっています。

この事業を積極的に行うことにより、佐賀県内の就労移行事業所20ヶ所に積極的に情報発信し、法定雇用率向上の推進を行いたいと思います。

このことにより、1.8%から2.0%が現実的なものとなると思います。



障がいを持つ人々が働くための力をつけ、一般企業等への就業できるための能力の向上や、就業意欲の向上に取り組む活動です。健常者と障がい者の「共存社会」を理念に地域の方々との交流を図り、障がい者が知識及び能力の向上、意識の向上と共に「社会の役に立っている」「生き甲斐」を見出せるよう自立性を尊重した作業指導と生産訓練を合わせて行います。



特定非営利活動法人 若杉会
障がい者活動センターのぞみ

代表:荒木 剛

担当:小部 祐司

Tel: 0952-33-5073

E-mail:

wakasugi-saga@yahoo.co.jp

目標額

625,000円

110,000円で就業実習用パソコン1台が購入できます。

ご寄付
の方法

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075683

一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-B】

一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

事業ID:1-B

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。



事業ID:1-C

高齢者・障がい者の方が
安心して佐賀県・嬉野温泉へ
旅行する為の活動
(バリア調査)

佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター



高齢者・障がい者の不安を取り除くための調査です 最近、「車椅子ユーザー大歓迎」のお店も増えています

佐賀県内の観光施設のバリア調査

情報提供を行う為には、バリア状況の調査が欠かせません。私達は「パーソナルバリアフリー基準」に基づいたバリア調査を行い、段差などの物理的バリアに関しては詳細にそのサイズや斜度等を計測します。また、店舗等であればそれぞれの店主の考え方をヒアリングさせていただき、「前もってお電話いただければ対応致します」等、高齢者や障がい者の方々が本当に知りたい情報を調査する事により、情報に厚みをもたらす事を重視致します。

高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくり

私達は、高齢者や障がい者が安心して旅行を楽しむ為のサポート活動をして参りました。

現在、健常者の為の旅行情報は世の中に溢れていますが、高齢者や車椅子ユーザー等のいわゆる「移動弱者」の為の情報はまだまだ驚くほど少なく、観光情報を取り扱う機関に問い合わせを行っても正確な情報を得る事は至難の業です。

今後、日本は超高齢化社会を迎えるにあたり、様々な施設のバリアフリー化が課題となってきます。また、縮小する一方の国内旅行市場を鑑みた場合、これまで積極的に顧客と捉えられていなかった高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくりを行う事が肝要だと思われれます。

これまでも私達は、一貫してバリア情報の提供を通じてひとりひとりの状況に合わせた旅行情報の提供を行って参りましたが、

ゆくゆくはそれらの情報が「普通の旅行情報」として取り扱われる様になる時代が来ると確信しております。まずは佐賀県からこの動きを全国に広げる事で、年を重ねても、障がいを持っても安心して旅行が楽しめる日本にしたいと考えております。

「福祉観光」

今回の事業を通じて、佐賀県および嬉野市のUD・バリアフリーに対する取り組みの先進性を広く佐賀県内外に認知していただく事ができると考えます。

その事により県内のみならず県外からの観光客の増加が見込まれ、佐賀県経済の活性化に寄与できると考えます。

我々の事業をカテゴライズした場合、福祉と観光を融合した「福祉観光」という新たなカテゴリとなります。福祉観光を進める事により、福祉業界への新たな需要を喚起する効果が見込まれます。

また、この動きは今後日本各地に広がっていく事が予想されます。その際に「佐賀・嬉野モデル」というモデルケースとなる事が予想されます。



私達は高齢者や障がい者の旅行をサポートする活動をしています。

全国でも珍しい取り組みですが、超高齢化社会が目前に迫っている日本においては10年後にはスタンダードの取り組みになると考えております。

佐賀県発のこの取り組みが全国に広がり、誰もが安心して旅行を楽しめる日本にする事が私達の役割と考えています。

私達の考えと取り組みをご理解いただき、共に「佐賀県から10年後のスタンダードを作る」という想いに共鳴いただける方よりのご寄付をお待ちしております。



佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター

代表:小原 健史

担当:吉川 博光

Tel: 0954-42-5126

E-mail: office@uresino.net

目標額

500,000円

7,900円で調査活動費の1日分が賄えます。

ご寄付
の方法

事業ID:1-C

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075697
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-C】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。





「行ける」ところではなく「行きたい」ところへ
「ありがとう」の一声が私達のエネルギーになります

観光施設のバリア情報の無償提供

高齢者や障がい者等に対し、観光施設のバリア情報を無償提供します。電話やメールでのお問い合わせに対し、そのお客様が最もやりたい事や行きたい場所が叶えられる様に様々な情報提供を行い、必要であれば宿泊施設や移動手段の手配も致します。また、観光パンフレットの送付も無料で行います。

「パーソナルバリアフリー基準」の考え方に基づき、画一的なバリアフリー情報ではなく、ひとりひとりに合ったバリア情報の提供を致します。

高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくり

私達は、高齢者や障がい者が安心して旅行を楽しむ為のサポート活動をして参りました。

現在、健常者の為の旅行情報は世の中に溢れていますが、高齢者や車椅子ユーザー等のいわゆる「移動弱者」の為の情報はまだまだ驚くほど少なく、観光情報を取り扱う機関に問い合わせを行っても正確な情報を得る事は至難の業です。

今後、日本は超高齢化社会を迎えるにあたり、様々な施設のバリアフリー化が課題となってきます。また、縮小する一方の国内旅行市場を鑑みた場合、これまで積極的に顧客と捉えられていなかった高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくりを行う事が肝要だと思われれます。

これまでも私達は、一貫してバリア情報の提供を通じてひとりひとりの状況に合わ

せた旅行情報の提供を行って参りましたが、ゆくゆくはそれらの情報が「普通の旅行情報」として取り扱われるようになる時代が来ると確信しております。まずは佐賀県からこの動きを全国に広げる事で、年を重ねても、障がいを持っても安心して旅行が楽しめる日本にしたいと考えております。

「福祉観光」

今回の事業を通じて、佐賀県および嬉野市のUD・バリアフリーに対する取り組みの先進性を広く佐賀県内外に認知していただく事ができると考えます。

その事により県内のみならず県外からの観光客の増加が見込まれ、佐賀県経済の活性化に寄与できると考えます。

我々の事業をカテゴライズした場合、福祉と観光を融合した「福祉観光」という新たなカテゴリとなります。福祉観光を進める事により、福祉業界への新たな需要を喚起する効果が見込まれます。

また、この動きは今後日本各地に広がっていく事が予想されます。その際に「佐賀・嬉野モデル」というモデルケースとなる事が予想されます。



私達は高齢者や障がい者の旅行をサポートする活動をしています。

全国でも珍しい取り組みですが、超高齢化社会が目前に迫っている日本においては10年後にはスタンダードの取り組みになると考えております。

佐賀県発のこの取り組みが全国に広がり、誰もが安心して旅行を楽しめる日本にする事が私達の役割と考えています。

私達の考えと取り組みをご理解いただき、共に「佐賀県から10年後のスタンダードを作る」という想いに共鳴いただける方よりのご寄付をお待ちしております。



佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター

代表:小原 健史

担当:吉川 博光

Tel: 0954-42-5126

E-mail: office@uresino.net

目標額

500,000円

6,400円で情報提供活動費の1日分が賄えます。

ご寄付
の方法

事業ID:1-D

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075709
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-D】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。



事業ID:1-E

高齢者・障がい者の方が
安心して佐賀県・嬉野温泉へ
旅行する為の活動
(介助器具貸出)

佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター



ほんのちょっとした助けが負担を軽減します 「情報+器具」で車椅子ユーザーの旅行をサポート

車椅子や入浴介助器具の無料貸出

移動困難者の為に、車椅子の無料貸し出しを行います。また、入浴困難者に温泉入浴をサポートする為にシャワーキャリー（浴室用車椅子）や電動リフト等、入浴補助器具の無料貸し出しを行います。

他にはベッドに外付けするタイプのベッド柵等、必要と思われる器具の無料貸し出しを行います。

さらに、貸出し終了後の機械のメンテナンス及び、古くなった部品の交換等を行います。

高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくり

私達は、高齢者や障がい者が安心して旅行を楽しむ為のサポート活動をして参りました。

現在、健常者の為の旅行情報は世の中に溢れていますが、高齢者や車椅子ユーザー等のいわゆる「移動弱者」の為の情報はまだまだ驚くほど少なく、観光情報を取り扱う機関に問い合わせを行っても正確な情報を得る事は至難の業です。

今後、日本は超高齢化社会を迎えるにあたり、様々な施設のバリアフリー化が課題となってきます。また、縮小する一方の国内旅行市場を鑑みた場合、これまで積極的に顧客と捉えられていなかった高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくりを行う事が肝要だと思われれます。

これまでも私達は、一貫してバリア情報の提供を通じてひとりひとりの状況に合わせた旅行情報の提供を行って参りましたが、

ゆくゆくはそれらの情報が「普通の旅行情報」として取り扱われる様になる時代が来ると確信しております。まずは佐賀県からこの動きを全国に広げる事で、年を重ねても、障がいを持っても安心して旅行が楽しめる日本にしたいと考えております。

「福祉観光」

今回の事業を通じて、佐賀県および嬉野市のUD・バリアフリーに対する取り組みの先進性を広く佐賀県内外に認知していただく事ができると考えます。

その事により県内のみならず県外からの観光客の増加が見込まれ、佐賀県経済の活性化に寄与できると考えます。

我々の事業をカテゴライズした場合、福祉と観光を融合した「福祉観光」という新たなカテゴリーとなります。福祉観光を進める事により、福祉業界への新たな需要を喚起する効果が見込まれます。

また、この動きは今後日本各地に広がっていく事が予想されます。その際に「佐賀・嬉野モデル」というモデルケースとなる事が予想されます。



私達は高齢者や障がい者の旅行をサポートする活動をしています。

全国でも珍しい取り組みですが、超高齢化社会が目前に迫っている日本においては10年後にはスタンダードの取り組みになると考えております。

佐賀県発のこの取り組みが全国に広がり、誰もが安心して旅行を楽しめる日本にする事が私達の役割と考えています。

私達の考えと取り組みをご理解いただき、共に「佐賀県から10年後のスタンダードを作る」という想いに共鳴いただける方よりのご寄付をお待ちしております。



佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター

代表:小原 健史

担当:吉川 博光

Tel: 0954-42-5126

E-mail: office@uresino.net

目標額 **500,000円**

6,400円でユーザーサポートと器具類のメンテナンス費の1回分が賄えます。

ご寄付の方法

事業ID:1-E

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075618
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-E】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。





我々の取り組みをとにかく知って頂きたいのです
障がいを持って安心して旅行が楽しめる日本にしたい

佐賀県や嬉野市の取り組み及び佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターのPR

佐賀県は他県に先駆けて「パーキングパーミット制度」を確立する等UD先進県であり、嬉野温泉は旅館組合加盟の宿泊施設のうち3分の1以上が佐賀県のバリアフリー基準を満たす等、日本最先端のバリアフリー温泉地です。この事実を広く一般の方々にも知って頂く必要があると考えます。さらに佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターの存在を知って頂く事により、それらの情報を手軽に収集できると言う事を知って頂く為にPRが必要です。

高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくり

私達は、高齢者や障がい者が安心して旅行を楽しむ為のサポート活動をして参りました。

現在、健常者の為の旅行情報は世の中に溢れていますが、高齢者や車椅子ユーザー等のいわゆる「移動弱者」の為の情報はまだまだ驚くほど少なく、観光情報を取り扱う機関に問い合わせを行っても正確な情報を得る事は至難の業です。

今後、日本は超高齢化社会を迎えるにあたり、様々な施設のバリアフリー化が課題となってきます。また、縮小する一方の国内旅行市場を鑑みた場合、これまで積極的に顧客と捉えられていなかった高齢者や障がい者の方々が安心して旅行を楽しめる基盤づくりを行う事が肝要だと思われま

す。これまで私達は、一貫してバリア情報の提供を通じてひとりひとりの状況に合わ

せた旅行情報の提供を行って参りましたが、ゆくゆくはそれらの情報が「普通の旅行情報」として取り扱われる様になる時代が来ると確信しております。まずは佐賀県からこの動きを全国に広げる事で、年を重ねても、障がいを持って安心して旅行が楽しめる日本にしたいと考えております。

「福祉観光」

今回の事業を通じて、佐賀県および嬉野市のUD・バリアフリーに対する取り組みの先進性を広く佐賀県内外に認知していただく事ができると考えます。

その事により県内のみならず県外からの観光客の増加が見込まれ、佐賀県経済の活性化に寄与できると考えます。

我々の事業をカテゴライズした場合、福祉と観光を融合した「福祉観光」という新たなカテゴリとなります。福祉観光を進める事により、福祉業界への新たな需要を喚起する効果が見込まれます。

また、この動きは今後日本各地に広がっていく事が予想されます。その際に「佐賀・嬉野モデル」というモデルケースとなる事が予想されます。



私達は高齢者や障がい者の旅行をサポートする活動をしています。

全国でも珍しい取り組みですが、超高齢化社会が目前に迫っている日本においては10年後にはスタンダードの取り組みになると考えております。

佐賀県発のこの取り組みが全国に広がり、誰もが安心して旅行を楽しめる日本にする事が私達の役割と考えています。

私達の考えと取り組みをご理解いただき、共に「佐賀県から10年後のスタンダードを作る」という想いに共鳴いただける方よりのご寄付をお待ちしております。



佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター

代表:小原 健史

担当:吉川 博光

Tel: 0954-42-5126

E-mail: office@uresino.net

目標額

500,000円

9,500円でメディア等への情報発信活動費1日分が賄えます。

ご寄付
の方法

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075697
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-F】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)



事業ID:1-F

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。

セラピーホースの
購入および調教資金
の募集です佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター温泉と乗馬のセラピー相乗効果
嬉野温泉の目玉商品です①「馬組九騎会」と共に「嬉野ホース
セラピークラブ」の立ち上げ

嬉野市内で乗馬体験等の活動を行っている「馬組九騎会」(代表:中村鉄平氏)と共同し、「嬉野ホースセラピークラブ」を立ち上げます。

②セラピーホースを購入および調教

馬であればどのような馬でもホースセラピーや、児童・生徒への乗馬体験が可能というわけではありません。気性の穏やかな馬を購入し、そしてどのような状況にも対応できる様、調教を行う必要があります。

③セラピーホースを伴い学校訪問

ホースセラピー用に調教された馬を伴い、学校訪問を行います。

馬とのふれあいや餌やり体験、さらに乗馬体験を通じて、他者への思いやりや動物を愛する心を自然に学びます。

④身体障がい者・精神障がい者を対象
としたホースセラピーを開催

現在、乗馬はパラリンピック種目になっている事でも知られるように、障がい者への身体的・精神的効果が認められています。障がい者手帳をお持ちの方を対象としたホースセラピーを開催致します。

この事業の目的は2つあります。

1. 学校訪問を行う事により、多くの児童・生徒が幼少時から馬に親しむ経験を持つ事が出来ます。この事により命の大切さや他者への思いやり等を学びます。

2. ホースセラピーを行う事により、多くは引きこもりがちな身体および精神障がい者の目を外へ向ける事ができます。馬を通じ

て自分や家族以外の他者と触れ合う経験によりその事が自信に繋がり、社会に出て自立を志向する方が一人でも増える事に繋がりたいと考えます。

「人にやさしいまちづくり」

この事業が社会や地域にもたらす最大の効果は、嬉野市が掲げる「人にやさしいまちづくり」の推進に寄与するという事です。

バリアフリーというと「段差をなくす事」といったハード面を強調されがちですが、最も進めなくてはいけないバリアフリーは人の心の中にあります。それぞれの人が気持ちの垣根を越えて、心まであたたまる地域になる事に少しでも寄与したいと考えております。

子供や高齢者・障がい者を含めた全ての人にとって住みやすく疎外感を感じる事のない、バリアフリーやUDの進んだまちとしての嬉野市を作っていく一助となる効果を期待しています。



私達は高齢者や障がい者の旅行をサポートする活動をしています。

全国でも珍しい取り組みですが、超高齢化社会が目前に迫っている日本においては10年後にはスタンダードの取り組みになると考えております。

佐賀県発のこの取り組みが全国に広がり、誰もが安心して旅行を楽しめる日本にする事が私達の役割と考えています。

私達の考えと取り組みをご理解いただき、共に「佐賀県から10年後のスタンダードを作る」という想いに共鳴いただける方よりのご寄付をお待ちしております。

佐賀嬉野バリアフリー
ツアーセンター

代表:小原 健史

担当:吉川 博光

Tel: 0954-42-5126

E-mail: office@uresino.net

目標額

500,000円

50,000円で市内の小学校を1校訪問できます。

ご寄付
の方法

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075621
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-G】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

事業ID:1-G

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。



第10回チャレンジド フォーラム in さが

チャレンジドフォーラム
inSAGA 実行委員会



地域で安心して暮らしたい。
みんなの夢を語り合うフォーラム。

基調講演・パネルディスカッションと 意見交換会

障がい者の地域生活を支援する福祉事業所の実践家、行政担当者、政治家を講師とする基調講演、パネルディスカッションを実施し、講師、フォーラム聴講者、実行委員会スタッフによる意見交換会を開催します。
また、授産品販売会、障がい者アートの展示会も休憩時間等を活用して実施します。

地域で生きることを当たり前

平成18年に障がい者自立支援法ができるまでは、障がい者は家族が抱え込むか、人里離れた入所施設で一生を暮らすかの二者択一が現実でした。

この現状を少しずつ着実に変え、「地域で生きることを当たり前」することを目的として政策提案を行い、良い取り組みを紹介し、応援する機会を年に1回つくるために「フォーラム」は始まりました。

障がいの種別に関係なくチャレンジドの地域生活を支えるためにはどのような支援体制が必要なのか、財源は大丈夫なのか、施設から地域への流れをどう作っていくのか等について討論します。

関係者への情報を提供し、世論を喚起し、一人でも多くの国民に必要な施策について共通認識が得られるよう「フォーラム」を通じて継続することが大きな力になると信じています。



知事の全面協力を得ながらフォーラムが始まって10年が経ちました。
フォーラムでの取り組みもひとつの後押しとなり、障がい者福祉のなかに発達障害や難病が入ることができ、今後の支援の充実が期待されています。
高齢福祉と障がい者福祉の連携を模索し、知恵のある制度設計をさらに開発し進めることができるようフォーラムを通して訴えていきます。

さらに次への取り組みを

「フォーラム」での取り組みがきっかけとなり、障がい者福祉のなかに発達障害や難病が入ることができた。

障がい者に対する福祉が、生きづらさを感じている人たちへの福祉へと少しずつ変わっていく中で、高齢福祉と障がい福祉の連携を模索し、生きづらさを感じているすべての国民に、必要最小限度の支援を届け、自立への手助けをしてくれる知恵のある制度設計をさらに進める端緒とすることができます。



チャレンジドフォーラム
inSAGA 実行委員会

代表:福市 繁幸
担当:福市 繁幸
Tel: 090-9409-2878
E-mail:

fukuichi2001@yahoo.co.jp

目標額

125,000円

10,000円でフォーラム配布資料の更なる充実が図れます。

ご寄付
の方法

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075666
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-I】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)



事業ID:1-I

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。

社会で役立つ コミュニケーション スキルアップ研修

特定非営利活動法人
Link



佐賀の町をもっと楽しく、豊かに・・・ 地域を愛する人づくり

実際に行動に移せる「できる」人材を育成する実践型トレーニング

ビジネスや市民活動の現場で、必要とされる能力を習得するための「コミュニケーションスキルアップ」研修です。頭で理解している「わかる」人材ではなく、実際に行動に移せる「できる」人材を育成する実践型トレーニングです。

時代やマーケットの変化に対応したコミュニケーション力、提案力、プレゼン力、アドリブ力をメカニズム化したプログラムを繰り返し実践することで、実績に即反映できる能力が身につきます。

ビジネスや市民活動における実績を飛躍的に向上させ、総合的な人間力を有した人材へと成長してもらいます。

これからの地域社会を担っていく上で必要不可欠な人材育成事業です。

参加者の可能性を最大限に引き出す

社会に出る前の、もしくは出たばかりの若年層がこのプログラムを受講することで、即戦力として貢献できる人材に成長する事が可能です。

新卒や中途社員の採用に悩んでいた企業、率先安心して人材の発掘や育成に興味を持つようになり、企業体力も向上し地域全体が潤う事に繋がります。

想像力や実践力に欠けた若年層が増加してきた昨今、また少子化によって減少傾向にある社会を支える若年人材の潜在能力を開花させる事で、地域社会の諸問題の解決に貢献できます。



即戦力として企業に貢献できる人材に成長させる

ビジネスコミュニケーション力の向上で、即戦力として地域企業側に積極的に採用してもらう事が可能となり、先輩・上司達にも影響が生じ、地域におけるビジネスマン・企業全体の活性化に繋がります。

各人がより高いレベルでの成功を求めることで、企業間の繋がりも生まれ、地域全体の利益に繋がる経済活動を展開していく事に貢献できます。

近年、企業間での協力(ジョイントビジネス)が盛んになっていますが、まさに時代のニーズに合ったビジネスマン・企業を創出していく事が可能となります。

次世代を担う若年層のビジネス能力の向上こそが、現代の地域社会に求められているのではないのでしょうか。

若年層が活躍する場を創出するために、少しでも早い段階で表現する力、描かせる力、理解する力、反応する力、最終的には各人の意欲に繋がる「実績を出せる人材」「総合的な人間力を備えた人材」を育成します。



地域社会を担っていく上で必要不可欠な人材を育成する事業を行います。ビジネスや市民活動の現場で必要とされる能力を習得するため、頭で理解して「わかる」人材ではなく、実際に行動に移せる「できる」人材の育成にご協力ください。



特定非営利活動法人 Link

代表:中村 一成

担当:森川 裕基

Tel: 0952-37-9281

E-mail:

npo.link.2008@gmail.com

目標額

625,000円

25,000円でコミュニケーションスキルアップ研修が1回開けます。

ご寄付
の方法

銀行振込

佐賀銀行 本店 普通 3075635
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替※

01790-3-73100 【通信欄に1-J】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接
お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)
ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。



「愛+笑顔のかけはしプロジェクト」

西九州大学ESRD



私たちが「かけはし」になります!!
タイと東北をつなごう



いつでもどこでもだれとでも、いろんな笑顔と出会いたい

東日本大震災を体験された伊藤寿美子さんとタイ・チェンマイに行き、当地で東北の支援をされているヒーリングファミリー財団の方々に震災についての話をしてもらいます。

そこで、東北の方々に向けたメッセージを集め、2012年3月に私たちが訪れた宮城県東松島市を再訪問し、伊藤さんとチェンマイでの活動報告をします。

さらに、宮城県での活動をビデオレターにまとめ、チェンマイに送り、東北を支援し続けていただいていることに対する感謝を伝えます。

また、チェンマイ及び東松島では、自分たちで開発・創作したレクリエーション(遊び)道具を使って現地の方々と交流を深め、その道具はプレゼントします。

タイは福祉に対する制度や社会資源が十分でなく、車いすを手に入れるのが困難なため、日本で使われなくなった車いすを集めて、タイへ届け寄付します。

プロジェクト終了後に、佐賀で報告会を行います。

震災を忘れない

東日本大震災から2年半が経ち、被災地の情報が少なくなっている中、遠く離れたチェンマイにおいて、継続して支援活動を行っている障がい者の方々があります。私たちはその事実を東北(被災地)に伝えるために、伊藤寿美子さんとタイに行き、タイの人たちに当時の様子や現状を伝え、タイの

人たちの思い(愛)を東北の人たちに伝え、笑顔にします。



私たちにできること

タイの方々に東北の現状を知ってもらい、支援していただいたことについての感謝を伝えます。また、東北の方々にもタイの方々が気にかけて、支援しているということを知ってもらえます。

佐賀でプロジェクトの報告を行うことで、震災を風化させないように働きかけることができます。

東松島市民とチェンマイ市民の国境を越えたつながりをつくり、互いを思いやることで笑顔にすることができます。

また、レクリエーション(遊び)はすべての人たちと笑顔で楽しみながら交流を可能にする一つのツールです。

創作した道具をプレゼントすることで、現地の障がい者が地域の子どもや大人たちと、また、異なる言語を持つ子どもたち同士が、継続して交流し、一緒に楽しめる場を作ることへつながります。



現在もタイ・チェンマイで東北(被災地)を支援し続けてくださっている障がい者の方たちがいることを知りました。今、私たちにできることは、タイの人たちが「震災のことを忘れていない」ということを、東北の人たちに伝え、お互いの思い(愛)と笑顔をつなげるかけはしとなることです。私たちの思いを形にするためにどうぞご支援ください。タイに持っていき、まだ使えるが、使われていない、小さめの車いすを6台募集しています。



西九州大学ESRD

代表:柳田 菜摘

担当:杷野 里菜

Tel: 0952-37-9281

E-mail:

swifry.444@i.softbank.jp

目標額

500,000円

10,000円で約30人を対象とした、2時間程度のレクリエーションを実施することができます。

ご寄付の方法

事業ID:1-K

銀行振込※

佐賀銀行 本店 普通 3075649
一般財団法人佐賀未来創造基金

郵便振替

01790-3-73100 【通信欄に1-K】
一般財団法人佐賀未来創造基金

現金・現金書留※

佐賀未来創造基金まで、直接お届けください。

クレジット決済(右QRコードもしくは事業特設ページより)ウェブ上でのクレジット決済も受け付けております。(CANPANのシステムを利用)

※領収書をご入用の方は、申込用紙に必要事項を記入してください。



佐賀を愛する500人を募集中



私たちは佐賀が大好きです
大好きな佐賀を
佐賀を大好きなあなたと
もっと大好きになりたい

未来へあなたの想いを伝えたい
佐賀未来創造基金

500人設立会員振り込み先
銀行振込 佐賀銀行 本店 普通 3067811
郵便振替 01790-3-73100
一般財団法人佐賀未来創造基金



お問い合わせ先は



一般財団法人

佐賀未来創造基金

〒840-0813 佐賀市唐人2丁目5-12 TOJIN茶屋3F

Tel: 0952-26-2228 Fax: 0952-37-7193

E-mail: info@saga-mirai.jp

Web: <http://saga-mirai.jp/>

Web QRコード→

Facebook: www.facebook.com/mirai.design.saga

